

常盤台地区雨水調整池工事を活用した校外学習を実施

常盤台地区の浸水対策として建設中の雨水調整池工事を活用し、防災教育の一環で地元の剣野小学校 4 年生を対象に校外学習（工事現場見学会）を実施します。

通常の工事現場は関係者以外立入り禁止ですが、防災意識の向上を目的に、工事中の現場を見学し、規模を体感しながら浸水対策の説明を聞きます。

1 日 時 令和 4 (2022) 年 11 月 15 日（火曜日）午前 9 時から
※雨天時は 16 日～18 日の期間で順延。

2 場 所 柏崎市常盤台地内（常盤台公園内）

3 雨水調整池コンクリート蓋への描画企画

児童から施設に愛着を持ってもらうため、8 月 29 日（月曜日）に調整池コンクリート蓋（幅 3m×長さ 1.5m）に「水」をテーマとした絵を描く企画を実施しました。今回の校外学習では、絵を描いたコンクリート蓋と記念撮影し、剣野小学校と地元集会所（常盤台会館）に写真パネルを展示します。

将来、思い出と共に施設についても語り継がれること期待しています。



絵を描く様子



4 年 1 組の作品



4 年 2 組の作品



雨水調整池での記念撮影イメージ

4 常盤台地区雨水調整池の概要

貯留量 4,500 立方メートル（小学校の 25m プール 13 個分相当）で、柏崎市が整備する雨水調整池としては初となる地下貯留式を採用しています。

排水区域	鵜川左岸第 5 排水区(米山台、常盤台、剣野町など)45.30 ヘクタール
排水方式	ポンプ排水と雨水調整池の併用
ポンプ施設	排水能力 1.5 立方メートル毎秒（0.75 立方メートル毎秒×ポンプ 2 台）※ポンプ施設は平成 29（2017）年度に完成。
雨水調整池	地下貯留型 貯留量 4,500 立方メートル



工事現場の様子

